

いては注視していき
たい」と語った。

資源化を図るもの。加えて、将来的にはレアアースを含有する品物のリサイクル事業も検討する予定という。

既存のレアメタル・レアアーストレーディング事業について、福田社長は「名前の通りレアな物を扱っているので、在庫をしっかりとってユーザーに届けたい」と安定供給を指針に挙げた。中国政府によるレアアース磁石加工技術などへの禁輸や輸出制限の強化検討に対しては、「日本へのレアアースの輸入の影響は当面ないと思われるが今後の動向につ

AMJ レアメタルスクラップ活用拡大へ

LIBリサイクル事業化は年度内に結論

レアメタル専門商社アドバンストマテリアルジャパン(AMJ、本社・東京都千代田区、社長・福田聡氏)はレアメタル・希土類(レアアース)スクラップの活用

拡大を目指す。その一環としてトライアルを行っているリチウムイオン電池(LIB)リサイクルの事業化については今年度内をめぐり結論を出す予定。

前期決算は取り扱い金属の相場上伸も重なって好調な業績が続くが、福田社長は「相場に左右されないビジネスモデルとして、原料の加工を行い、付加価

値を創造する事業を進めていきたい」と事業基盤を強化する方針。その上で「リサイクル分野にさらに力を入れていきたい」と述べた。

AMJはリサイクル分野において、廃基板のトレーディングや台湾の協力企業リエンヨウ・メタルズと連携して工具などのタングス

テンスクラップからタングステンやコバルトを取り出すなど、再資源化に取り組んでいる。

事業化を検討しているLIBリサイクルは、国内で保有する炭化炉を活用し、下処理をした後ブラックマスを製造、リエンヨウ・メタルズの子会社で再

